

SEKISUI INTERIOR supports you to make beautiful and comfortable interior decoration which is considered good for people and environment through "FINE DECO". We give you the latest information to help your interior decoration.

Sekisui Interior ISSUE

J u l y
2 0 0 9
.....
summer
vol.

9

SEKISUI INTERIOR PRESS



築40年の建物を甦らせた栗原邦子さんの美意識

好きなものが
醸し出す
澄み切った
ハーモニー



私たちはもししたら、
いろいろなものを我慢しながら
生活しているのでしょうか？
便利なもの、いただいたもの、
取り敢えず形を整えるために買ったもの……。
少しずつ妥協しているうちに、
いつの間にかノイズの中にいるのかもしれない。
立川市に住む栗原邦子さんの家にあるのは、
“ヒューな静けさ”。
ほんとうに大切なものを残し、
美しいと感じるものだけをそばに置く。
堅牢な木、やわらかな色の石、ぱりとした布、
昔の和筆筒、モダンなアート……。
一見、さまざまなものがあるのに、
住む人の“好き”という感覚に吸い寄せられたものは、
穏やかなハーモニーを奏でているのです。

武蔵野の面影を残す立川市に住む栗原邦子さん。長く、テーブルリネンのコーディネーターとして日本とフランスを行き来してきたこともあって、インテリアの中の古いものと新しいもの、和と洋の組み合わせがとても自然。「テーブルリネンは、折り皺を見せてもいいの」とトルコブルーのクロスをふわりとテーブルにかけてくれた。

KUNIKO
KURIHARA



子供のころ過ごした懐かしい家は、躯体だけを残して全面改装。居間の床は大谷石を張り、靴で過ごすスタイル。「ほごりが立たないので掃除もラクよ」。階段奥に見えるのは、古い家の扉材に鏡を張って、存在感のある姿にしたもの。敷地の中の樺の木は、暖炉の下の標とダイニングテーブルとして再生。



PURE STYLE

たいていの人々は住み替えのとき、新しい家に合わせて、家具や小物を買揃えようとしてます。古い家具は、ピカピカの新しい家にはそぐわないから。ピカピカの家も、ピカピカの家具も、好きではなかった栗原邦子さんは、愛着のある昔の家や家具をできるだけ生かそうと試みました。

実家の敷地の中で、離れとして建てられた小さな家は、古いながらもしっかりとしたつくり。お母さまが使った家具も、思い出とともに残されていました。栗原さんが設計者に託した希望は、柱や梁、窓枠やドアなど、使える部分は残したい、やむを得ず切り倒した敷地の中の樺は、家具や棚などに生かしたい、ということ。

「時間をかけてつくられたものや、長く使われてきたものは、もう一度つくろうと思ってもそう簡単につくれるものではありません。それなら、なんとかうまく使ってあげたいと思ったのです」

暖炉のある1階のリビングルームは、スリッパを使いたくないので、靴のまま入れるようにと石の床に、穏やかな色の大谷石を選んでいきます。樺の木は、壁に埋め込んだ暖炉の下の棚板と、ダイニングテーブルになりました。

布張りのソファやガラスのリビングテーブルは現代のものなのに、ここにあると不思議に冷たくない。桐の筆筒も、漆喰の壁に違和感なく溶け込みます。

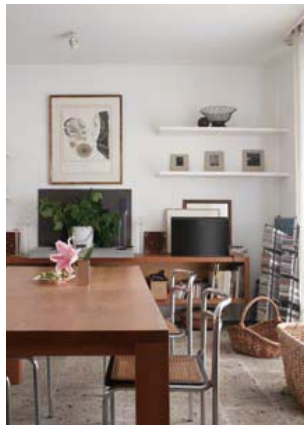
暖炉のある壁は、全面を棚にして、好きで集めたポットやガラスの花瓶を、アートといっしょに並べています。役目を終えたランチョンマットは、栗原さんの手でクッションに姿を変えています。

この家の中でものの価値は、作者や値段やブランドではなく、栗原さんが好きなものかどうか、ともに過ごす時間を楽しめるかどうかということ。だから家の中が雑多にならない。そして無垢の木や石、銀や鉄、しっかり織られた布は、生まれてきたときと同じように、じゅくりと時間をかけて味わいを増していくに違いありません。

栗原さんに選ばれたものは、優しいけれど、きっぱりと澄み切った空気をつくって、そこに暮らす人そのものを物語っているのです。



“絵になる”瞬間

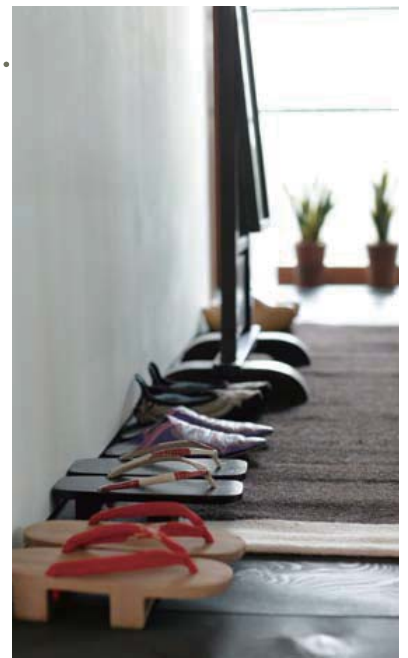


暖炉の回りや筆筒の上、寝室の壁など、視線の行き着く先に、びたびたっと絵になるシーンが見つかります。メインはなんといっても暖炉の回り。壁に埋め込まれた暖炉の上には、フランスのアーティスト、イヴ・トレモアのモノトーンのリトグラフ。小さな3枚のアートは、イザベル・ベニータの、紙や墨を使った小品。ジュリアン・グレッセンズの、グレーのグラデーションが幻想的な海の写真は、暖炉の左の壁に並べて置いています。

楽しいのは、日常に使うものまで絵にしようとするところ。ポットやメダルのコレクションは、数をたくさん並べることで、コーナーにリスムを、本を支えるブックエンドにオブジェを使えばユーモアが生まれます。絶妙なバランス感覚で、家の中の至るところに“絵”が現れます。



入り口と居間とを区切る低い収納の上、栗原さんの手にかかる。帽子も本も、絵になってしまう(写真上)。リビングの北側は全面を壁にして、横のラインを強調した棚は、コレクションの映える舞台装置。モダンアートと並んで、ポットやメダルのコレクションがディスプレイされているところがおもしろい(写真中・右)。



大切な、昔の記憶

かつてお母さまが使っていたという桐の筆筒や姿見。ていねいにつくられた昔のものは、素材も、今よりはるかに上等のものも多く、とても捨てるに忍びなかったとか。

桐筆筒は、その昔購入したところに問い合わせてたところ、汚れた表面を削って新たな仕上げを引き受けてもらえました。生まれ変わった筆筒はダイニングの一角に置いて、フランスで出会った日本の水墨画を飾っています。

下駄も、しまい込むのではなく、ベッドルーム脇の廊下に並べています。美しいもの、好きなものは、和も洋も、違和感なく溶け込みます。履物はしまうもの、桐筆筒は墨の部屋に、という固定観念を取り去って、ものの姿だけを見れば、アンティークの生かし方も広がります。

下駄も、モロッコのパーシュも、2階の廊下にリスミカルに並べた。後ろに見えるのは姿見(写真上)。桐筆筒は1階のダイニングテーブルの脇に。しっとりとした雰囲気が増した(写真左)。



光に包まれた白いバスルーム。アクセントは意匠のブルー。フランスの化粧水が入っていたガラスボトルで、サンゴパン製。置いてあるものは、プラスチックを極力排除。ヒューな清潔感にあふれている。

赤い部屋、白い空間

1階のリビングルームは、モノトーンを基調にしたインテリアにして、クッションやテーブルクロス、花の色で、季節やその日の気分を楽しんでいる栗原さん。2階では、一転して色そのものの中で過ごします。

ベッドルームは濃密な赤。天井も壁もベイントしていますが、間接照明が部分的に照らしてくれるので、派手さよりも、落ち着いた深みを感じる空間になっています。ヴェトナムで見つけたぱりとしたコットンのベッドリネンを合わせて、夏を迎えます。

そして真っ白なタイル張りのバスルーム。プラスチックの色を排除した潔さが、輝くような清潔感を醸し出します。光に満たされる朝、窓の外の街明かりだけが届く夜、白い空間は、ここで過ごすひとときを浄化してくれます。



赤を基調にした寝室。懐かしい写真は大小のクラシックなフレームに入れて壁に。



an example

- 所在地 千葉市美浜区
- 家族構成 6人家族
- 築年数 10年
- 物件区分 マンション
- 面積 128㎡

モダンでありながらも暮らしの温もりを...
というお客様の想いを
開放的なマンション空間として実現しました。

「モダンであたたかな家」



1 上がり框と天井のやわらかな曲線が印象的な玄関。壁には部分的に伝統的なダマスク柄をあしらったアクセントに、他の居室の直線で構成されたモダンな印象とは対照的に変化をつけ、あえて曲線でエレガントさを演出しています。

千葉市美浜区にお住まいのO様は、現在のライフスタイルにフィットした、家族が幸せに暮らせる空間を、という想いから築10年のマンションをリフォームされました。

「モダンな雰囲気でも冷たく味気なくはしたくない」とのご要望に応え、住まいの顔となる玄関の上がり框と天井に印象的な曲線のデザインを採り入れています。また、家族が集うLDKは、子供たちにも目が届きやすいオープンな開放感あふれる空間に。家族の使い勝手に合わせたオリジナルキッチンもつくるなど、シンプルながら華のある空間に仕上がっています。

和室だった部屋はリビングを広くした



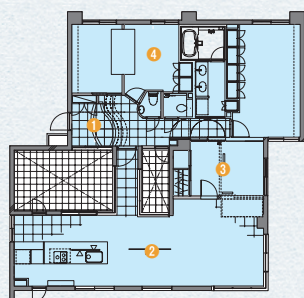
4 左はお嬢さんの素敵なお部屋。壁は塗装現場にも立ち会って、こだわりのラベンダー色を実現。右は男の子2人の部屋で、グリーンとブルーをテーマカラーにコーディネートしています。

分、少し狭くして子供部屋に。ラベンダーの壁色にこだわったお嬢さんのお部屋には、マンション最上階の天井高を活かしてロフトベッドを。男の子2人の部屋にも、それぞれの部屋から使い分けられるロフト風2段ベッドを作りました。

4人のお子様とワンちゃんの大家族とは思えないほど、すっきりと暮らされているO様。マンションという枠にとらわれないリフォームによって、空間の美しさと家族の心地よさを両立した住まいを見事に実現された実例といえるでしょう。



以前は独立型だったキッチンの壁を取り払い、オープンで開放的なLDKにイメージチェンジ。キッチンにはライトコートや子供部屋の方が見渡せるように配置しています。また、犬を飼っていることもあり、床は耐久性の高いタイルにしています。



ご相談・お問い合わせ...
0120-870-646 (本店)
定休日：水曜日・日曜日
営業時間：10：00～18：00
施工エリア：東京23区内・千葉県浦安市(他要ご相談)

Reform tokyo

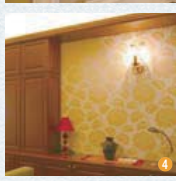
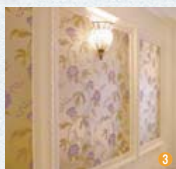
セキスイハイムのインテリアを長年手掛けてきた弊社は、その豊富な実績とノウハウを生かし、マンション・戸建住宅ともにリフォームのお手伝いを行っております。まずは、何でもお気軽にご相談ください。

osaka

ご相談・お問い合わせ...
0120-851-731 (大阪支店)
定休日：水曜日・日曜日
営業時間：10：00～19：00
施工エリア：大阪府・兵庫県(神戸市・芦屋市・西宮市・尼崎市・伊丹市・宝塚市・他要ご相談)



1階のサロンは、ご近所の方やお仕事上のお客さまとの応接に使うためのパブリックなスペース。床は、土足で使えるようタイル仕上げとなっています。



こうして完成したY様のお住まいですが、その主役は、何といってもエントランスから入ってすぐにある「サロン」スペースです。

ここは来客のためのスペースですから、できるだけ広々とした開放感が得られるように、建具にもガラスを積極的に使用して、どよりの空間とのつながりや奥行き感を大切にしています。もちろん、Y様ご自慢のアンティーク家具と空間が調和するように柱や天井の形状にまで気を使ってデザインしました。

Y様からも初回のプレゼンテーションではびっくりしたイメージが持てたと評価をいただき、細かい部分や、その仕上がりにご満足いただけたようです。



an example

- 所在地 大阪市
- 家族構成 2人家族
- 築年数 40年
- 物件区分 重量鉄骨造一戸建て
- 面積 230㎡

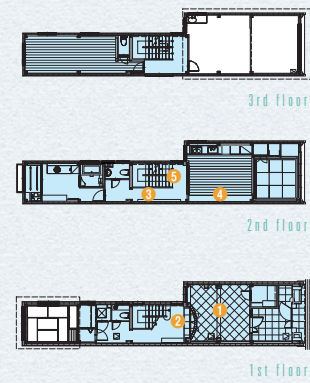
築40年のお住まいを、
お客様の趣味であるアンティーク家具に
調和した欧風住宅にとリフォームされました。

「サロンのある家」

大阪市内にお住まいのY様は、築40年の戸建て住宅をリフォーム。素敵なアンティーク家具をお持ちで、壁紙や内装に「外国」のテイストや質感を求めておられました。

そこで、外国映画に出てくるような本物の欧風住宅を目指して、モールディング(建物や家具につけられる帯状の装飾)や壁紙にもこだわり、デザイン提案としては女性らしさを感じられる、ヨーロッパエレガントな雰囲気に。

しかし、あまり甘くなりすぎると日々住まう家としては落ち着かないものになると考え、それを引き締める意味でポイントに「黒」を効かせました。たとえば、照明器具は黒い鉄部が使われているハードな印象のものを選び、カーペットは黒に近いグレーに、階段の手摺りにも黒のロートアイアンを使用しています。



階段手すりにはロートアイアンを使い、ヨーロッパの香り漂うシックなイメージを持たせています。また、天窓の面格子にも手すりと同じパターンを使用しています。

TOPICS
トピックス

人に環境にやさしいインテリアをめざす「ファインデコ」。セキスイインテリアとして皆様の住まいづくりに役立つ耳寄りな最新情報をセレクトして、いち早くお伝えします。



知情意体で子どもを育てる

子どもをのぼすインテリア「wepi」をご愛用の皆さまからぞくぞくとメッセージをいただいています!

教育学者、齋藤孝先生とセキスイインテリアによる特別プロジェクト「wepi」(ウェビ)。お子様の集中力を高める机や長く座っても疲れにくい椅子などが大好評! すでにご愛用の皆さまからも、「お勉強がしやすくなった」「本棚の前にいることが多くなった」など、うれしい声が届いています。



商品ご購入・お問い合わせにつきましては、ホームページをご覧ください。

<http://www.s-wepi.com>



これからは「wepi」といっしょにお勉強がんばってね!

天然素材の呼吸する壁「ガウディア」で、きれいな空気と美しいデザインのあるインテリアを実現しませんか?

健康内装建材 ガウディア

Gaudia

NEW ITEM



「ガウディア」は、お部屋の空気に含まれる「湿気」「におい」「化学物質」を吸い込み、いつも快適な空気に保つ健康内装建材。ジメジメした梅雨時もカラッと、室内の湿度を50~70%にキープ。生活臭やシックハウスの原因となる有害化学物質も素早く吸着してくれます。素材には大地から生まれた天然鉱物(カオリン)を使用し、製造時のCO₂発生量も少ないので、人にも地球にもやさしく安心。上質感がありインテリア性にも優れているので、お部屋のイメージチェンジにもおすすめです。



使い方はアイデア次第...

「ガウディア」の使い道は、壁だけではなく、厚みが3~7ミリと薄く、加工もしやすいので、下駄箱や収納棚などの中に入れておくことが可能。気になる臭いや、こもりがちな湿気を吸い取ってくれます。



さらに、ちょっとした工夫で便利なスグレものを作れることも...「ガウディア」をカットして靴を傷つけないように布で覆うれば、お洒落な靴の除湿・脱臭剤が完成! これなら小さなサイズのお子様用も作れますね。

PICK UP

木の魅力を知り尽くした家具工房がつくる美しく心癒される玩具たち。

人々の心を癒すインテリアを目指し、天然木ならではの素材感を生かした、家具や小物をつくり続ける広松木工。そんな家具工房がつくる、大人が欲しくなる木の玩具たち。休日の豊かな時間を過ごすアイテムとしてふさわしい逸品です。



<http://www.hiromatsu.org>



五目並べの立体版。本体はウェンジ。球はメーブルとバドゥーク。柱は真鍮製。GIOCAPE キュービック4ボールズ 32,550円(税込)



ゲーム盤はウォールナット、球はメーブルとウェンジを貼り合せて作られている。GIOCAPE リバーシ 32,550円(税込)

「ガウディア」新発売キャンペーン

人気の北欧柄ポーチをプレゼント!

健康内装材「ガウディア」の発売を記念して、セキスイインテリアホームページにお問合せ頂いた方先着30名様に北欧柄のオリジナルポーチをプレゼントします。尚、お問合せ内容はリフォーム・オリジナル商品に限らせていただきます。お問合せ内容ご記入の最後に「セキスイインテリアプレゼントのポーチプレゼント希望」とご記入ください。

*当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



PRESENT

セキスイインテリアは、チーム・マイナス6%に参加しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

セキスイインテリア株式会社

お問合せは下記ホームページまで...

<http://finedeco.jp>